



**コウノトリの郷への発展
めざし積極的支援を**
橋爪 法一（日本共産党議員団）



問／5月6日に吉川区内でヒナの誕生を確認した。特別天然記念物のコウノトリが繁殖の場として、環境保全型の農業を進めている上越市を選んでくれたことをとてもうれしく思う。今回のヒナの誕生をどう受け止め、今後どういう保護対策を考えているのか。

答／まずは、今回誕生したヒナが無事に巣立つてほしいと願っている。保護については、引き続き専門家から指導を仰ぐとともに、文化庁や環境省、県などの関係機関とも連携を図りながら、適切に対応していきたい。

問／ここ数年間にコウノトリを一番見かけたのは頸北だ。5割以上低減栽培が一番進んでいる。だが、面積を維持し、増やすのは大変で、支援が必要だ。関係農家の声を聞いてコウノトリの郷になるよう全力をあげてもらいたい。

答／科学的な分析に学び、この環境を広めていきたい。担当部局と話をしながら政策を進めていきたい。



**「総構」内の民有地に
関する今後の公有地化**
小林 和孝（市民クラブ）



問／通年観光計画において、今後整備が予定されている「総構」は、未だに民有地のままとなっている部分があるが、今後の公有地化についての計画を聞きたい。

答／「総構」部分に残る民有地については、近年更なる公有地化の要望をいただいている。今後の公有地化については、現在進めている通年観光計画やレガシー形成事業との整合を図る中で、市の財政計画も勘案しながら検討していきたい。

問／史跡指定地拡大とその方向性について聞きたい。

答／史跡指定地の拡大については、「総構」内に残されている民有地の公有地化を優先し、公有地化が完了した後に、新たな追加指定の検討を行いたい。ただし、追加指定に向けた登記記録確認等の準備作業は引き続き進めていく。



問／集中豪雨などによる崩落等の心配は。

答／災害・復興科学や地質、植物などの専門家から指導いただきながら、日常点検のほか、排水処理、倒木の危険のある樹木の計画的な伐採などの対策を進めている。



**低コスト工法による
耐震化で安心安全を！**
高山 ゆう子（市民クラブ）



問／当市が支援している無料耐震診断と改修費用についてこれまでの申請状況は。

答／耐震診断は97件の申込みがあったが、改修の申込みはまだない。

問／耐震診断1件辺りの費用は。

答／上越市建築士会に診断を委託しており、約9万9千円である。改修に繋がらないのは改修費が高いことや後継ぎがないためと考える。

問／耐震診断は最初の一步。改修に繋げ、施策の価値を高めてほしい。費用が安価な「低コスト工法」を当市に広めるつもりはないか。

答／合板や筋交い、金物を使った工法であると認識しているが、詳細は、現在研究中である。

問／現在23の都道府県で補助対象となっている。市民が安心を手に入れられるよう、安価で強い耐震工事を広め、実現してほしい。



学びの多様化学校に小規模特認校の視野を！

問／校区外から通える小規模特認校は「子どもの希望を叶える学校」として不登校の子どもも受け入れ、きめ細やかな指導と特色ある教育を実現している。当市の不登校特例校設置検討にこのような視野やイナプラン教育なども入れてみては。

答／広い視野を持ち、今後検討していきたい。